

事務事業チェックシート

事務事業No 775 事業名 わかやま名所・旧跡絵画展開催交付金事業

[事業基本情報]

分野別目標	5	子どもが輝き、文化が薫る教育のまち
政策	4	文化・スポーツの振興
施策	1	文化遺産の保護・継承
基本方針	2	文化遺産の公開・活用

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・予算区分	会計		一般会計	
	款		教育費	
	項		社会教育費	
	目		文化振興費	
	大事業		文化振興事業	
事項	わかやま名所・旧跡絵画展開催交付金事業			

事業種別	新規	主な事務事業	
事業期間	～		
事業実施の根拠法令			
関連個別計画			
担当課・担当課長 (Tel)	文化振興課	有本 光博 (435-1194)	
関連課			

「3つの約束・44の約束」との関連性

3つの約束	産業を元気に	まちを元気に	人を元気に	非該当
			○	
44の約束				○

1 事業概要及び実施内容

事業概要	事業目的（「誰・何」をどういう状態にする」ための事業か）	事業内容				
	絵の制作を楽しんでいる市民を対象に、和歌山市の名所・旧跡をテーマにした絵画展を開催し、和歌山の美術文化の振興を図るだけでなく、歴史や文化を身近に感じ慣れ親しんでもらう。	気軽に楽しんで作品を発表でき、油絵、水彩画、版画、日本画、水墨画などの一般公募を行い展示し、作品の趣に重点をおく作品展を開催する。 ・交付先 わかやま名所・旧跡絵画展実行委員会 会長 楠山 繁 ・和歌山市民会館 展示室・市民ホール ・出展数 200点前後				
実施内容		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
		第1回わかやま名所・旧跡絵画展 平成26年3月26日～29日 市民会館 展示室 市民ホール 実施団体 わかやま名所・旧跡絵画展実行委員会	第2回わかやま名所・旧跡絵画展 平成27年3月22日～29日 市民会館 展示室 市民ホール 実施団体 わかやま名所・旧跡絵画展実行委員会	第3回わかやま名所・旧跡絵画展 日程 未定 市民会館 展示室 市民ホール 実施団体 わかやま名所・旧跡絵画展実行委員会		

2 事業コスト

事業費等 千円		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度	
		当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算	計画	決算
	事業費	814	814	814	814	814		814		814	
	伸び率 (%)	-	-								
	人件費	常勤職員	708	733	729	715					
		非常勤職員	81	101	101	94					
		小計	789	834	830	809					
	国庫支出金										
	県支出金										
	市債										
	その他										
	一般財源(税等)	814	814	814	814	814					
所要人数	常勤職員	0.10	0.10	0.10	0.10						
	非常勤職員	0.04	0.05	0.05	0.05						
主な予算内訳											

3 目標及び実績

活動指標	指標名及び達成状況				平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
	開催日数	年度目標値		実績値		7	7	7	
		7		7					
	単位	全体目標値	35	全体目標達成度	40.0%	年度別達成度	100.0%	100.0%	
		年度目標値		実績値					
	年度別達成度		年度別達成度						
成果指標	出展数	年度目標値		実績値		200	150	150	
		152		106					
	単位	全体目標値	800	全体目標達成度	32.3%	年度別達成度	76.0%	70.6%	
		年度目標値		実績値					
	年度別達成度		年度別達成度						
	入賞者数	年度目標値		実績値		13	13	13	
13		13							
年度別達成度		年度別達成度							
単位	全体目標値	65	全体目標達成度	40.0%	年度別達成度	100.0%	100.0%		

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか		増加している	○	横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か		市が行うべき	○	他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない	できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか		達成している(90%以上)	○	おおむね達成(70~90%未満)	達成していない(70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	○	一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し		適正	○	負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実			○	
	現状維持				
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	<p>絵画制作を楽しむ市民に出展の機会を与えるだけでなく、本市の名所・旧跡を絵画を通じて広く知ってもらうことに繋がっている。</p>
「見直し」 「改善」案	<p>入賞作品を掲載したポスターを作り、市内関係施設や県内の観光協会に配布し、本市の名所・旧跡のPRに努める。</p>